

提案型協働事業報告書 (活動支援交付金)

<p>団 体 名</p>	<p>特定非営利活動法人 Paka Paka</p>
<p>1 該当する第 6 次総合計画の 9 つのまちづくりの目標</p>	<p>まちづくり目標 2 「安心して子どもを産み育てることができるまち」</p>
<p>2 解決へ向けて取り組んだ地域課題</p>	<p>被虐待児の約 6 割は発達障がい児と考えられている。この数字に発達障がい児の子育ての困難さが表れているのではないだろうか。 発達障がい児の子育ては、「指示が理解できにくい」「環境に左右されやすい」等の原因から、物事を教えにくく、子育てのしにくさから保護者へのストレスが大きいと考えられている。そのため、虐待に繋がるケースも少なくない。 発達に不安のある子どもをもつ保護者に対して発達障がい児の子育てスキルを培ってもらうことが必要だと考えるが、就学前の保護者は気持ちも揺れやすく、適切な情報提供にはスキルが必要であり、また、一つの機関が担うことは負担が大きい。また、支援が必要な子どもが、幼児期に適切な支援につながらず、学齢期に困り感が増えてしまうケースが多くみられる。また、保護者が現状を適切に把握できず、相談にいたらないケースも多いことが課題。</p>
<p>3 協働対象部署</p>	<p>子育て支援課・保健センター・福祉課</p>
<p>4 事業の内容等</p> <p>(1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業 PR の方法 (5) その他</p>	<p>(1) ① 個別育ち教室 発達に不安のある未就園から就学前までのお子さんとそのご家族対象に、発達に詳しい専門家 (公認心理師・言語聴覚士) が遊びの中でお子さんの状況を見ながら、適切な関わり方を保護者に伝える。 ② ペアレント・プログラム 未就園児の保護者 (事後教室に参加している保護者対象) に対し、自分と子どもの「行動を観る」コツをワークを用いて少人数で学ぶ講座。 ③ ペアレント・トレーニング 子どもとの適切な関わり方を専門家から学ぶ講座。家庭での実践目標を立案し、実践したことを専門家と受講者で振り返り、学びを共有する。 ④ 保育士向け研修 (全 4 回講座) 子どもの発達支援に関わる人材育成を目的として開催。 (2) ① 武豊町保健センター (隔週金 10:00~12:00) ② 武豊町中央公民館 (3 回講座) 託児付き ③ 武豊町中央公民館 (4 回講座) 託児付き (3) ① 総利用者数 15 名 待機待ち 2 名</p>

	<p>② 受講者延べ7名 託児3名</p> <p>③ 受講者延べ22名 託児4名</p> <p>④ 8名（加配保育士を対象）</p> <p>(4) 保健センター・子育て支援課と連携し、遊び方教室での告知や、保健師からのアプローチにより必要な方への情報提供を行った。②については、広報には掲載せず、保健師からの直接アプローチのみ。④は子育て支援課保健師と連携して広報を行っている。</p>
5 事業実施により得られた効果	<p>育ち教室利用者から児童発達支援サービスの利用に至ったケースは1件あった。ペアレントプログラム・ペアレントトレーニングいずれも受講者満足度は90点。子どもの行動の見方や褒め方や褒めるポイントを学べたことがよかったという感想が聞かれた。また、育ち教室や講座に参加された方で、地域の座談会へ参加された方が5名いた。講座後の相談しやすい環境づくりのきっかけが作れたのではないかと。また、2つの講座については、関係機関の職員にも同席をお願いしたことで、発達だけではない課題（家族の精神疾患や虐待）のある2つのケースについても、迅速な連携をとることができた。</p>
6 次年度以降の事業展開	<p>個別育ち教室，ペアレント・プログラム，ペアレント・トレーニングについては，Paka Paka へ業務委託となる予定。</p>
7 その他	

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。